



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。



## 育苗期～定植時おすすめ防除

育苗期の徹底防除で、本圃への病害虫の持ち込みを防ぎましょう！

**！ 防除チラシ掲載農薬は年間の通し回数をカウントしていません！ ご自身の散布履歴に合わせて薬剤を検討してください！ ！**

※ ランナー切り離し後から農薬のカウントが始まります。回数にはお気を付けください。

IRAC FRAC	対象病害虫	薬剤名	予防 治療		希釈倍数	使用時期	回数	影響日数			
								ミツバチ	マルハナ	ミヤコ	チリ
12	黒腐病・炭疽病 灰色かび病	セイビアーフロアブル20	○	—	1000倍 (灰色かび病: 1000~1500倍)	前日	3回	0日			0日
39, 21A	アブラムシ類・アザミウマ類 うどんこ病 等	ハチハチフロアブル	○	—	1000倍	1番花の 開花まで	1回	5日	5日 ↑		40日↑
M03	炭疽病	アントラコール 顆粒水和剤	○	—	500倍	仮植 栽培期	6回	—	1日	—	7日
6	ハダニ類	アグリメック	—	—	500~1000倍	育苗期	2回	14 日	7日		7日
10,1	炭疽病	ゲッター水和剤	○	○	1000倍	収穫開始 21日前	3回	0日	0日		14日
1B	アブラムシ類 ハダニ類 等	トクチオン乳剤	—	—	1000倍	75日前	3回	—	1日		30日
3	うどんこ病・炭疽病	サンリット水和剤	○	○	2000倍 (うどんこ病: 2000~4000倍)	前日	3回	1日	—	0日	—
13	ミカンアザミウマ・ ハダニ類・ハスモンヨトウ 等	コテツフロアブル	—	—	2000倍	前日	2回	10 日	9日		14日

対象病害虫によって希釈倍率が異なる場合があります。ラベルの確認をしてから使用してください。



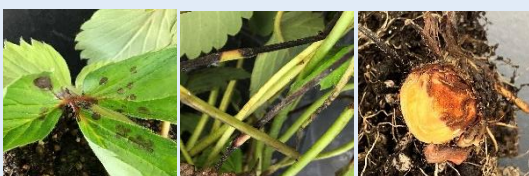
### 似ているこの症状はどんな病気？～炭疽病・疫病～

**どちらも親株から感染する可能性があるため、育苗期から注意が必要です！**

**症状が酷似しているため、適切な対策をするために病害虫診断をおすすめします！**

#### 【炭疽病(Colletotrichum)】

茎やランナーに黒色のくぼみが発生したり、葉では赤～黒褐色の斑点を形成します。多湿時には小黒点や鮭肉色の胞子を形成することもあります。ク라운を切断すると、**外側から赤褐色に変色**しています。



#### 【疫病(Phytophthora)】

**ク라운と根の基部が褐変**し、切断すると外側から内側へ褐変しています。葉には初期は黒褐色で楕円形のくぼんだ病斑が発生し、多湿時には拡大して暗褐色、不明瞭な病斑を形成します。



**切り離し後  
から育苗期が  
スタート!**



毎月1日掲載  
各作物をチェック!

